

分野6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

政策1 魅力を活かした観光の振興

施策1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進 …施策番号 39

施策2 インバウンドの推進 …施策番号 40

施策3 コンベンションの誘致推進 …施策番号 41

政策2 活力ある農林業の振興

施策1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進 …施策番号 42

施策2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進 …施策番号 43

施策3 森林の保全と資源の活用促進 …施策番号 44

政策3 特色を活かした商工業の振興

施策1 商工業の強化と環境整備の促進 …施策番号 45

施策2 地域の特性が光る商工業の推進 …施策番号 46

施策3 新たな活力につながる産業の創出 …施策番号 47

政策4 安定した就労の促進

施策1 就労の促進と多様な働き方の支援 …施策番号 48

施策2 勤労者福祉の推進 …施策番号 49

6-1-1

1 施策の概要

施策番号	39（6-1-1）			テーマ1 まち	テーマ2 ひと	テーマ3 しごと
分 野	産業・経済分野		担当部局	観光文化部		
政 策	魅力を活かした観光の振興		担当課	観光振興課		
施 策	豊富な観光資源等を活かした観光交流促進					
施策の 目指す状態	豊富な観光資源を活かし、観光客でにぎわい観光消費額が増加している。					



※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	10 不平等	16 平和	6 水・衛生	7 エネルギー	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	8 経済成長と雇用	9 イノベーション	11 持続可能な都市	12 生産と消費	17 実施手段
主要な目的に該当するゴール							○						○			○	○

2 指標の推移等

内 容			単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
					R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	長野市は、魅力的な観光都市である	%	(R3) 64.0	70.9	65.4				↑
	R 5 年度実績値の理由	実績値は前年度から低下したものの、関係団体と連携し、WebサイトやSNS等を活用して効果的に観光宣伝を実施したことで、基準値を上回った。								
	回答者自身の実践状況①	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	%	(R3) 33.1	31.8	30.8				↑
	R 5 年度実績値の理由	関係団体と連携し、WebサイトやSNS等を活用して観光宣伝を実施したが、善光寺以外の魅力が伝わっていないと思われる。								
統計指標	市内観光宿泊者数 (年)	観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づく市内宿泊者数の推計	万人泊	(R2) 103.1	258.5	192.7				160.1
	R 5 年度実績値の理由	観光振興課	令和 4 年度は善光寺御開帳の開催年のため例年より宿泊客が大幅に増加したことから、令和 5 年度は減となったが、基準値は上回っている。							
	観光消費額	一人当たりの観光消費額の推計	円	(R2) 12,497	17,467	17,730				12,591
	R 5 年度実績値の理由	観光振興課	新型コロナウイルスによる影響が小さくなったため。							
	観光入込客数	市内の主な観光地 (11箇所) への入込客数の総計	万人	(R2) 448.5	1,334.5	917.8				1,092
	R 5 年度実績値の理由	観光振興課	令和 4 年度は善光寺御開帳の開催年のため例年より観光客が大幅に増加したことから、令和 5 年度は減となったが、基準値は上回っている。							

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	- 川中島古戦場や周辺地域への誘客、周遊促進を目的とし、市が所有する川中島の戦いに関する錦絵などの文化財を活用したデジタルコンテンツを開発し、デジタルスタンプラリーを開催するなど市の歴史、文化を活かした新たな観光コンテンツとして発信できた。 - 観光客が快適に滞在できる環境整備を目的にEバイクのレンタサイクル事業を開始し、観光客が訪れる長野駅周辺や川中島古戦場にステーションを設置するとともに各観光協会に対しEバイクの購入費用等を補助するなど市全体での取組みを行った。 - 重点施策の地域資源を活かしたコンテンツの開発では、善光寺界限でのまち歩きイベントや松代地区での真田邸を活用した飲食バスツアーを行うなど、地域資源を活かした取組を行った。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDG s の視点からの課題 (該当ゴール及び三側面のバランス)
アフターコロナにおいて、多様なニーズを持つ観光客の消費行動を促進させるため、新たな観光スタイルに対応する魅力的なコンテンツの開発が必要がある。	観光消費額を増加させることで、地域経済の活性化を図り、持続可能な観光都市となるような取組を実施していく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと (課題解決に向けてやるべきこと)	
(公財) ながの観光コンベンションビューローや各観光協会と連携し、新たな観光コンテンツの開発・推進のほか、継続的かつ効果的な観光情報の発信を強化する。	

6-1-2

1 施策の概要

施策番号	40（6-1-2）		テーマ1 まち	テーマ2 ひと	テーマ3 しごと
分 野	産業・経済分野	担当部局	観光文化部		
政 策	魅力を活かした観光の振興	担当課	観光振興課		
施 策	インバウンドの推進				
施策の 目指す状 態	外国人観光客の誘客に向けた効果的な情報発信を行うとともに、充実した受入環境の下で外国人観光客が快適に滞在している。				

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済					全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段	
	1 貧困削減	2 飢餓ゼロ	3 良好な健康と福祉	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	10 人や国々の格差をなくそう	16 平和と公正	6 安全な水とトイレを世界中に	7 再生可能エネルギーを普及させよう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を豊かにしよう	15 陸の豊かさを守ろう	8 働きがい、経済成長を促そう	9 産業と雇用を創出しよう	11 住み続けられるまちづくりを	12 持続可能な消費と生産	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
主要な目的に該当するゴール							○						○	○			○	

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	〔再掲：長野市は、魅力的な観光都市である〕	%	(R3) 64.0	70.9	65.4			↗
	R5年度実績値の理由	令和4年度春の善光寺御開帳のにぎわいの反動により、善光寺しかないと感じる人が増えたため。							
	回答者自身の実践状況①	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	%	(R3) 33.0	33.7	36.5			↗
	R5年度実績値の理由	外国語に対する苦手意識は依然として全世代にあるものの、外国人を目にする機会が増えることで親切心によるおもてなししたいと考える市民が全世代で徐々に増えてきている。							
統計指標	市内外国人宿泊者数（年）	長野県「外国人延宿泊者数調査」に基づく外国人の市内宿泊者数の推計	人泊	(R2) 24,344	28,911	R6.12 公表予定			105,671
	R5年度実績値の理由	観光振興課	国内のインバウンドはコロナ前を超えていると報道されているが、地方における宿泊者数はまだ回復途中である。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R5年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・「善光寺表参道イルミネーション」を、ながの灯明まつり実行委員会とこれまで以上に連携して善光寺表参道エリアで実施した。 ・市長のトップセールスとして、タイ及び中国で市長が自らプレゼンテーションを行い、長野市の魅力を発信した。 ・金沢市や近隣市町村と連携し、アジアや欧米豪に向けてファムトリップや商談会の実施等のプロモーション活動を行い、ツアー造成に向けて働きかけた。 ・外国人観光客が長野市を訪れ、滞在する際に快適に過ごせるよう外国人向けパンフレット（紙媒体、WEB媒体）の整備を行うとともに、観光地でフリーWi-Fiを提供した。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
JR長野駅を起点に、スノーモンキーや白馬、野沢温泉などに向かう外国人観光客を多く見かける。善光寺、戸隠、松代などの魅力的なコンテンツの認知を向上させるとともに、滞在時間延長や消費額拡大につながる取組が必要である。	人口減少が進んでいる中、インバウンドによる観光消費額で市内の経済規模を維持させる必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
長野市の観光コンテンツの認知を向上させるとともに、高付加価値なサービスの提供でインバウンドの滞在時間延長や消費額拡大につながる取組を民間事業者（宿泊、飲食）と連携し観光庁や文化庁の補助事業を活用して実施していく。次回善光寺御開帳をゴールに見据えて進めていく。	

6-1-3

1 施策の概要



施策番号	41 (6-1-3)	担当部局	観光文化部
分野	産業・経済分野	担当課	観光振興課
政策	魅力を活かした観光の振興		
施策	コンベンションの誘致推進		
施策の目指す状態	多様なコンベンションが開催され、参加者でにぎわっている。		

※ SDGsとの関連

主要な目的に該当するゴール	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
							○						○			○	○

2 指標の推移等

内 容			単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
					R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	%	(R3) 34.4	43.6	43.6				↑
	R 5 年度実績値の理由	コロナ禍前と比較し、コンベンション開催件数がほぼ同水準まで回復したもの								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-	-
	R 5 年度実績値の理由									
統計指標	コンベンションの参加者数	ながの観光コンベンションビューローが誘致・支援したコンベンションへの参加者数	人	(R2) 10,220	65,279	77,468				120,000
	R 5 年度実績値の理由	観光振興課	新型コロナウイルスが5類に移行されたことに伴い回復基調にあるもの							

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	- 市内経済の活性化のため、コンベンション誘致事業や支援事業を行った。 - 主催者に対し開催経費を助成することにより、コンベンションの開催促進を図った。 - コンベンションに関する各種ガイドブックや専用サイトの情報を適宜最新のものに更新した。 - 学会等の案件発生が見込まれる高等教育機関との連携強化を推進し、協定締結に向けた取組を行った。
---	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGs の視点からの課題 (該当ゴール及び三側面のバランス)
・(公財)ながの観光コンベンションビューローや各観光協会との連携を更に強化し、多くのコンベンションを誘致することで、参加者が大会前後に長く市内に滞在していただき、地域経済への波及を高める必要がある。	多くのコンベンションを誘致し、賑わいを創出することで、持続可能な地域経済の活性化を図っていく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと (課題解決に向けてやるべきこと)	
- 庁内や外郭団体に対して、コンベンションの開催予定に関する調査を行い、その回答をもとに、(公財)ながの観光コンベンションビューローと連携して、コンベンション開催に向けた分野横断型の誘致活動を行う。 - 観光振興計画に基づき、オリンピック関連施設や美術館等を積極的に活用し、国内外の各種コンベンションやスポーツ大会、イベント等の誘致を推進し、本市への誘客とにぎわいの創出につなげる。	

6-2-1

1 施策の概要

施策番号	42（6-2-1）				テーマ① まち	テーマ② ひと	テーマ③ しごと
分 野	産業・経済分野			担当部局	農林部		
政 策	活力ある農林業の振興			担当課	農業政策課		
施 策	多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進						
施策の 目指す状 態	農地が有効に利用され、専業農家のほか多様な担い手が農業に取り組んでいる。						

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	10 不平等	16 平和	6 水・衛生	7 エネルギー	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	8 経済成長と雇用	9 イノベーション	11 持続可能な都市	12 生産と消費	17 実施手段
主要な目的に該当するゴール		○					○						○	○	○		○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる	%	(R3) 25.6	31.8	28.3			↑
	R 5 年度実績値の理由	30～50歳代で肯定的評価の割合が高くなっており、身の回りで農業に携わる方や耕作者が増えているなどの意見も多いが、若年層の農業参画を実感している声は少ない。							
	回答者自身の実践状況①	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	%	(R3) 42.4	42.2	40.3			↑
	R 5 年度実績値の理由	60歳以上の世代は、自ら家庭菜園や畑で野菜や果物などを作っていると肯定的評価が多い。若年層は身近に農作物作りの環境がないことなどから肯定的評価が低い状況である。							
統計指標	地域の中心経営体数	人・農地プランに掲載されている者の数	人	(R2) 629	763	871			671
	R 5 年度実績値の理由	農業政策課	農地中間管理事業の利用者が増えているため人数が増加した。						
	農地の利用権設定面積	農業委員会事務局農地情報公開システム登録面積	ha	(R2) 752.7	862.9	904.4			992.7
	R 5 年度実績値の理由	農業政策課	農業者の高齢化や後継者不足に伴い、担い手への権利移動が進み利用権設定面積が増加した。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・農地中間管理事業などの実施により中心経営体への農地の集約を進めるとともに、新規就農者に対する相談体制を充実させて新たな担い手の確保を進めた。 ・独立自営新規就農者へ経営開始に向けた支援を進めるとともに、親元就農者支援事業により地域の中心的な農業の担い手である認定農業者の子弟の就農促進を行った。 ・農業研修センターにおいて、農業に携わりたい人や企業など多様な人材を新たな担い手として育成するため、研修コースごとに野菜栽培の技術指導を行った。
---	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGs の視点からの課題 (該当ゴール及び三側面のバランス)
・「地域計画」(旧「人・農地プラン」)の策定に向けた取組み ・新規就農者及び認定農業者の確保育成 ・農業の多様な担い手の確保育成	持続可能な食料生産システムの確保に向け、次世代を担う就農者の確保育成と、担い手への農地の集積・集約による農地の遊休荒廃化の抑止
上記課題の解決に向けて必要なこと (課題解決に向けてやるべきこと)	
・就農相談会等で担い手の掘り起しを行うとともに、農地貸出しや農業の継承希望を把握しながら農業委員や長野市農業公社と連携し、更なる農地流動化を推進する。 ・新規就農者及び認定農業者への支援制度の周知と経営改善指導や栽培技術支援などのフォローアップを行う。 ・農業研修センターでの技術研修を充実する。	

6-2-2

1 施策の概要

施策番号	43（6-2-2）			テーマ① まち	テーマ② ひと	テーマ③ しごと
分 野	産業・経済分野	担当部局	農林部			
政 策	活力ある農林業の振興	担当課	農業政策課			
施 策	地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進					
施策の 目指す状態	りんご、もも、ぶどうなどの高品質で安全・安心なおいしい農産物が生産され、高い評価を得ている。					

※ SDGsとの関連

主要な目的に該当するゴール	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
		○					○						○	○		○	○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	%	(R3) 92.0	91.7	90.3			→
	R 5 年度実績値の理由	18～64歳までの幅広い世代で90%が肯定的な評価をしており、良質な果樹産地であることが市民に浸透しているもの、65歳以上が温暖化の影響などから肯定的評価が減少傾向である。							
	回答者自身の実践状況①	地元産の農作物をかうように心がけている	%	(R3) 84.0	80.4	78.8			→
	R 5 年度実績値の理由	高齢者世代ほど、新鮮で安心な地元産作物への肯定的評価が多く、地元産に対する意識は高いが、農産物価格の上昇の影響から、高齢者世代からも価格重視の意見が出ている。							
統計指標	果樹の新品種・新技術導入による栽培面積	りんご新わい化、ぶどう新品種の栽培面積推計値	ha	(R2) 120.5	176.8	154.7			180.5
	R 5 年度実績値の理由	農業政策課	ぶどうの新品種栽培面積は増加しているものの、りんごの減少が大きいことから減となった。						
	市の農業生産額	市内で生産される農作物の生産額推計値の令和3年度から5年間の累計	億円	(R2) 192.6	191.9	395.1			1,020
	R 5 年度実績値の理由	農業政策課	農産物価格の上昇などにより増となった。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・農作業の省力化及び多収化を図るため、りんごの「新わい化栽培」の導入を支援した。 ・高収入が見込まれるシャインマスカット等のぶどうの栽培面積の増加を図るため、ぶどう新品種推進や振興果樹等苗木導入等に係る補助金を交付した。 ・地域奨励作物（小麦・大豆・そば・枝豆）に対し補助金を交付し、生産量を増やすとともに、農地の遊休荒廃化を抑制し、地産地消を推進した。 ・「長野市果樹産地ブランド化戦略」に基づき、PRイベント実施や販売促進活動を実施した。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
・農業の後継者不足、農業従事者の高齢化の進行 ・本市農業の主体である果樹の生産性向上及び高付加価値 ・農地の遊休荒廃化防止及び中山間地域農業の振興	農業生産活動のイノベーションを支援するため、新品種・新栽培技術の導入を促すとともに、スマート農業の取り組みを進める。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
・りんごの新わい化等の導入による省力化及び、ぶどう等の新新種の苗木の導入等による生産性の向上。 ・地域奨励作物（小麦・大豆・そば・枝豆）に対する補助金交付の継続。 ・中山間地域優良農地復元事業などの活用による遊休荒廃農地の農地復元を支援する。 ・本市の果樹産地イメージの更なる浸透及び定着を図り、ブランド確立を推進する。	

6-2-3

1 施策の概要

施策番号	44 (6-2-3)	分野横断 テーマ① まち	分野横断 テーマ③ しごと
分野	産業・経済分野	担当部局	農林部
政策	活力ある農林業の振興	担当課	森林いのしか対策課、新産業創造推進局
施策	森林の保全と資源の活用促進		
施策の 目指す状態	森林が守り育てられ、森林資源が有効に活用されている。		

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1 貧困 POVERTY	2 飢餓 ZERO HUNGER	3 保健 GOOD HEALTH AND WELL-BEING	4 教育 QUALITY EDUCATION	5 ジェンダー EQUALITY	10 不平等 REDUCED INEQUALITIES	16 平和 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS	6 水・衛生 CLEAN WATER AND SANITATION	7 エネルギー AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY	13 気候変動 CLIMATE ACTION	14 海洋資源 LIFE BELOW WATER	15 陸上資源 LIFE ON LAND	8 経済成長と雇用 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH	9 イノベーション INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE	11 持続可能な都市 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	12 生産と消費 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION	17 実施手段 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS
主要な目的に該当するゴール							○		○			○	○	○	○		○

2 指標の推移等

内 容			単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
					R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート 指標	環境・体制に関する評価①	森林が整備されている地域である	%	(R3) 41.7	41.5	40.3				↑
	R 5 年度実績値の理由	森林整備は単年度で結果が表れるものではなく評価自体もしにくいいため、アンケート回答者の違いによる主観の差が評価に影響していると思われる。長期的な評価が向上するよう継続的な事業実施に努めた。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-	-
	R 5 年度実績値の理由									
統計 指標	搬出間伐による木材生産量	県・市への木材生産補助申請実績	m ³	(R2) 9,773	10,409	6,372				15,000
	R 5 年度実績値の理由	森林いのしか対策課	林業事業者と協力して森林整備を行う森林の集約化を進めたが、施策実施の合意形成に時間を要したため、集約化が進まなかったもの							

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	- 森林所有者や整備する森林の調査を林業事業者と協力して行った。 - 森林整備を実施する林業事業者をフォレストワーカー育成事業により支援した。 - 市産材普及事業により庁舎や保育園等に、テーブルやベンチ等の木製品を設置した。 - 森林とのふれあい体験を進めるため、森カフェやブッシュクラフトなどを実施した。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
- 木材価格の低迷による森林所有者の森林整備への意欲の低下 - 森林の境界や、所有者不明地の増加 - 林業の担い手の減少 - 手入れの遅れた森林と伐採時期を迎えた森林の増加	再生可能な木材資源の有効活用を推進するため、持続可能な経営管理が必要である。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
長野市森林経営管理計画に基づき以下の4つの基本方針により森林整備を進める。 - 森林整備の推進 - 林業従事者の確保・育成と先端技術の導入 - 森林とのふれあいの促進 - 木材利用の普及	

6-3-1

1 施策の概要

施策番号	45 (6-3-1)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	特色を活かした商工業の振興	担当課	商工労働課
施策	商工業の強化と環境整備の促進		
施策の目指す状態	持続可能で足腰の強い商業活動や工業生産が展開され、地域外からの利益が取り込まれている。		



※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1 貧困 (赤い人々)	2 飢餓 (鍋)	3 保健 (心臓)	4 教育 (本)	5 ジェンダー (女性)	10 不平等 (矢印)	16 平和 (鳩)	6 水・衛生 (水)	7 エネルギー (太陽)	13 気候変動 (目)	14 海洋資源 (魚)	15 陸上資源 (木)	8 経済成長 (棒グラフ)	9 イノベーション (ギア)	11 持続可能な都市 (建物)	12 生産と消費 (無限)	17 実施手段 (花)
主要な目的に該当するゴール							○						○	○			○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	%	(R3) 37.3	42.2	40.1			↗
	R 5 年度実績値の理由	新店舗の開店等があり、肯定的評価の回答が基準年と比べておおむね全ての世代で増加している。							
	環境・体制に関する評価②	活力のある企業が多い地域である	%	(R3) 30.1	29.9	28.9			↗
	R 5 年度実績値の理由	30歳代以上の世代で否定的な回答が増加したため。							
	回答者自身の実践状況①	地元のお店で買い物をするように心がけている	%	(R3) 79.9	80.3	80.1			→
統計指標	R 5 年度実績値の理由	地元のお店での買物を意識している者がいる等、肯定的評価の回答が基準年とおおむね同様の傾向にある。							
	長野市 1 世帯あたりの市内での月間消費支出額	長野市 1 世帯当たりの月間消費支出額に長野市の地元滞留率を乗じて推計	円	(R2) 132,759	125,594	144,380			160,000
	R 5 年度実績値の理由	商工労働課	基準年と比べて食料に係る支出等が増加し、1 世帯当たりの月間消費支出額が増加している。						
	製造品出荷額等 (年)	経済センサスまたは工業統計調査による従業者 4 人以上の事業所の出荷額	億円	(R2) 5,938	5,775	6,121			6,802
R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	R 5 年度実績値の理由	商工労働課	直近で実施された令和 4 年度調査の実績値は 6,121 億円となっている。 ※令和 5 年度から全事業所の出荷額となっています。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・商店街環境整備事業 (R 5 → 1 件) ・商店街電灯料助成事業 (R 5 → 51 件) ・賑わい演出事業補助金 (R 5 → 14 件) ・株式会社まちづくり長野のまちづくり活動 (非営利部門) を支援するための運営補助金を交付。 ・ものづくり支援センターに配置したインキュベーションマネージャーが積極的に企業を訪問するなどして、企業の研究開発に対する補助金の活用を促すとともに国の開発補助金の申請の相談を行うなどものづくり企業への支援を行った。また、企業のデジタル活用の相談に対応するため、産学連携 IT コーディネーターを継続して委嘱した。 ・金融機関に資金を預託し、中小企業等に、その事業活動、事業転換及び創業や災害支援など必要な資金の融資を行っている。 ・小規模事業者の IT 化・デジタル化による生産性の向上を図るため、長野市小規模事業者 IT 機器等導入支援事業補助金の交付を行った。また、令和 2 年度から令和 4 年度の交付事業者に対してアンケート調査を実施し、今後のフォローアップにつなげていくため、機器等の活用状況を把握した。
--	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDG s の視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
・商工業活動が将来に渡って持続していくために、商工会議所等と連携して商工業者の経営基盤を強化していく必要がある。 ・企業の生産性向上や製品・サービスの価値向上につなげていくため、デジタル技術の活用によるD Xやその前提となるデジタル化について支援していく必要がある。	・商工業活動が持続するための経営基盤強化や環境整備の支援を行っていく必要がある。 ・市内企業のデジタル技術の活用によるD Xや、その前提となるデジタル化について支援していく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
・中心市街地の集客力を高めて賑わいを創出するため、まちづくり会社等と連携して効果的な対策を検討する。 ・地域の商店街団体については、今後は老朽化しつつある街路灯維持管理に対する支援や、街の防犯、安全のためのニーズが増えていくと考えられ、継続的な支援を行っていく。 ・市内企業のデジタル技術の活用によるD Xや、その前提となるデジタル化について、人材の育成とともにデジタル技術の導入計画の策定から実行まで段階を踏まえて幅広く支援を行っていく。	

6-3-2

1 施策の概要

施策番号	46 (6-3-2)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	特色を活かした商工業の振興	担当課	商工労働課
施策	地域の特性が光る商工業の推進		
施策の 目指す状 態	中心市街地、中山間地域などの地域ごとにある様々な特性を活かし、商工業に活気があり、まちがにぎわうとともに、本市の特長を活かした新製品・新技術が開発され、企業活動が活性化している。		



※ SDGsとの関連

主要な目的に該当するゴール	社会						環境					経済					全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
							○						○	○		○	○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価① 〔再掲：市内に個性的で魅力的なお店が増えている〕	%	(R3) 37.3	42.2	40.1				↗
	R 5年度実績値の理由	新店舗の開店等があり、肯定的評価の回答が基準年と比べておおむね全ての世代で増加している。							
	環境・体制に関する評価② 〔再掲：活力のある企業が多い地域である〕	%	(R3) 30.1	29.9	28.9				↗
	R 5年度実績値の理由	30歳代以上の世代で否定的な回答が増加したため。							
	回答者自身の実践状況①	%	(R3) 79.9	80.3	80.1				→
統計指標	R 5年度実績値の理由	地元のお店での買物を意識している者がいる等、肯定的評価の回答が基準年とおおむね同様の傾向にある。							
	長野市1世帯あたりの市内での月間消費支出額（再掲：施策番号45）	円	(R2) 132,759	125,594	144,380				160,000
	R 5年度実績値の理由	商工労働課	基準年と比べて食料に係る支出等が増加し、1世帯あたりの月間消費支出額が増加している。						
	製造品出荷額等（年）（再掲：施策番号45）	億円	(R2) 5,938	5,775	6,121				6,802
	R 5年度実績値の理由	商工労働課	直近で実施された令和4年度調査の実績値は6,121億円となっている。 ※令和5年度から全事業所の出荷額となっています。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・後継者育成、また販路拡大を支援するための補助金を交付。 ・中小企業者が企業価値の算定、事業承継計画の策定など、事業承継に向け各種の専門家に依頼する経費等について 助成する「事業承継促進補助金」により、中小企業者の事業承継に対して補助金を交付し、事業継続を支援。 ・企業と研究機関等が共同で行う研究開発事業に対し、新技術等共同研究開発事業補助金（旧ものづくり補助金）を交付し、新技術開発の支援を行った。
--	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
・本市の人口は減少基調であり、今後、空き店舗の増加、後継者不足、通行量の減少など、地域の賑わいと魅力の低下が懸念される。一方で「信州・長野」のブランド力は全国でも高く、地域の魅力や特性を活かし、関係機関等と連携を図りながら集客や販売を促進していく必要がある。 ・新技術等の創出や、既存企業の成長につながるよう支援を行っていく必要がある。	・事業活動に伴う環境負荷の低減を図る必要がある。 ・事業継続につながる人材育成等の支援を行っていく必要がある。 ・産学官が連携してイノベーションの創出を一層進めていく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
・本市の特色ある工芸品や物産品を観光資源と絡めて紹介することで、販路の拡張と市内への誘客を図る。 ・地域企業の特性を生かした新技術の開発や販路の開拓といった支援制度により、企業活動を支援していく。	

6-3-3

1 施策の概要

施策番号	47 (6-3-3)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	特色を活かした商工業の振興	担当課	商工労働課、イノベーション推進課、企業立地課
施策	新たな活力につながる産業の創出		
施策の 目指す状態	自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい産業の創造に向け、創造性豊かな人材や企業が集積し、オープンイノベーションや起業・創業などの動きが始まっている。		



※ SDGsとの関連

主要な目的に該当するゴール	社会						環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	平等	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1	2	3	4	5	10	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
							○					○	○			○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている	%	(R3) 40.0	31.0	27.8			↑
	R5年度実績値の理由	起業家が身近で確認できない等、おおむね全ての世帯で否定的評価の回答が肯定的評価の回答を上回っている。							
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-
	R5年度実績値の理由								
統計指標	大学等と共同で新技術・新製品の開発を行う件数	長野市新技術等共同（旧ものづくり）研究開発事業の選定を経て、大学等と共同開発を行う事業の延べ件数【H17からの累計】	件	(R2) 45	51	56			62
	R5年度実績値の理由	商工労働課	企業が新技術・新製品の開発のため積極的に研究開発や設備投資を行う傾向にあり、事業件数は順調に伸びている。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R5年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	- 従来の商店街団体が実施するイベントへの補助金に加え、新たに複数の事業者や団体等が連携して、多様なアイデアを出し合い実施する「コラボイベント」への補助を行った。（4団体） - 中心市街地の空き店舗、空き家等を活用して出店する者が実施する出店の取組に対して補助金を交付した。 - 市内の既存工業用地に限られるため、新たな産業用地の開発に引き続き取り組むとともに、市内企業のDXなど生産性向上にも期待が寄せられるICT産業の企業誘致に引き続き取り組んだ。 - スタートアップをはじめとする起業につながるよう、スタートアップを理解するセミナー、アイデアピッチ等の各種イベントを行うほか、事業構想段階から起業後間もないスタートアップ等に対する伴走支援などを随時実施することで、起業家数の増加に取り組んだ。 - 新技術等共同研究開発事業（旧ものづくり）補助金について、情報通信業の付加価値額の向上を目的に、情報通信業の研究についても対象を拡大した。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
- 個人消費の低迷、経営者の高齢化、後継者不足、消費者の購入経路の多様化等により、商店街の空き店舗等が増加し、商店街の活力が低下しているため、来街者を増加させ、まちの賑わいにつなげていく必要がある。 - 用地、オフィス、雇用の確保など、進出拡大意欲を持つ企業のニーズに寄り添った企業誘致をしていく必要がある。 - 引き続き起業を目指す方の段階に応じた支援をきめ細かく行いながら、新産業の担い手となる新たなプレーヤーの育成等を強化していく必要がある。	様々な産業の担い手を生み出し雇用を含む経済の持続性を担保するエコシステムの構築につながる活動を、引き続き支援していく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
- 住民や観光客の誘客を促進する取組や、街なかの賑わいにつながる取組等を行う商店街団体等を支援する。 - R6年度に策定する「長野市産業立地ビジョン」を踏まえ、企業立地に向けた産業用地の整備、企業誘致及び立地環境整備を進めていく。 - 起業意識醸成や起業の準備段階から起業後間もない起業家への支援等、スタートアップをはじめとする産業の新たな担い手の創出に取り組むとともに、新たにイノベーションを起こしたいと考える市内企業の新規事業創出につながる取組を実施する。	

6-4-1

1 施策の概要

施策番号	48 (6-4-1)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	安定した就労の促進	担当課	商工労働課
施策	就労の促進と多様な働き方の支援		
施策の目指す状態	企業の特長や求人に関する情報が容易に入手でき、働き方改革が推進されるなどの多様な働き方が可能になることで、就労が促進されるとともに、様々な人が就労しやすい環境が整備されている。		



※ SDGsとの関連

主要な目的に該当するゴール	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
				○	○	○	○						○				○

2 指標の推移等

内 容			単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
					R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	仕事を見つけやすい環境が整っている	%	(R3) 13.7	16.4	17.7				↗
	R 5 年度実績値の理由	ハローワークの求人情報等、インターネットやSNSなどにより取得しやすくなっているため、肯定的な評価が増加した。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-	-
	R 5 年度実績値の理由									
統計指標	推計就業者数	課税資料のうち、給与支払報告書や確定申告書、市・県民税申告書を有する者の人数を「推計就業者数」として推計	人	(R2) 207,648	206,701	207,222				210,000
	R 5 年度実績値の理由	商工労働課	新型コロナの5類移行に伴う経済活動の再開により、回復傾向にある。							

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	- 若者のUJIターン就職促進を図るため、長野地域若者就職促進協議会による就職情報サイト「おしごとながの」の運営をはじめ、長野地域の企業と若者をつなげる場「ナガノのシゴト博」を東京で対面開催した。「ナガノのシゴト博」では、地域企業とのマッチングを推進するとともに、移住ニーズの高まりに応じ、移住経験者によるトークセッション、移住相談など地域の魅力発信に取り組んだ。 「長野市職業相談室」では、職業に関する相談への指導・助言、キャリアカウンセリング、求人情報の提供の他、社会保険労務士による労働相談、公認心理師による心理カウンセリングなど、就労支援に取り組んだ。 - 高齢者の社会参加の観点から、年齢に関わらず活躍できる社会の実現を目指して、就労支援セミナーの開催や就労相談会の実施、シニア人材の活用推進に取り組んだ。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDG s の視点からの課題 (該当ゴール及び三側面のバランス)
- インターネットやSNSなど様々なツールを活用し、広く情報を発信することで多くの参加者を呼び込み、参加者と企業とのマッチングを推進させる。 - 求職者が就職情報サイト「おしごとながの」を利用し、仕事が容易に探せるように求人情報や企業情報の登録を呼びかけるとともに、利用しやすいシステムの改修を進める。	若者・女性・高齢者や、就職氷河期世代などのニーズに応じた働き方を支援するとともに、雇用とのマッチングを進めるには、市だけでなく国、県や関係機関と連携を図っていく必要があり、企業への支援も必要である。
上記課題の解決に向けて必要なこと (課題解決に向けてやるべきこと)	
常に、社会情勢や就職採用活動の傾向を把握するとともに、イベントをはじめとした発信の内容や方法を適宜見直しながら様々なニーズに添った就労の促進を図る。	

6-4-2

1 施策の概要

施策番号	49 (6-4-2)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	安定した就労の促進	担当課	商工労働課
施策	勤労者福祉の推進		
施策の目指す状態	中小企業の福利厚生や研修の機会が確保され、勤労者がいきいきと働いている。		



※ SDGsとの関連

主要な目的に該当するゴール	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
							○						○				○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	%	(R3) 33.6	33.8	32.7			↗
	R 5 年度実績値の理由	最低賃金は過去最大の引き上げとなったが、物価高の影響で実質賃金の上昇が抑えられ、前年より肯定的な評価が減少した。							
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-
	R 5 年度実績値の理由								
統計指標	長野市勤労者共済会への加入者割合	市内の中小企業勤労者数に占める長野市勤労者共済会の会員数の割合 (4月1日時点)	%	(R2) 11.2	11.2	11.0			11.3
	R 5 年度実績値の理由	商工労働課	事業所の退会に伴う会員数の減少により、加入者割合が減少したもの。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 5 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・勤労者福祉施設再編に係る新施設「南部勤労者活躍支援センター」管理条例を制定した。当該新施設では、利用者の範囲を拡大するとともに、勤労者の福祉増進に加え、生活の充実・雇用の促進支援・働き方改革の推進を目指す。 ・補助金を交付している長野市勤労者共済会では、施設利用補助券を全会員に配布することで利用者の拡大やサービスに繋がった。また、会員数の増加を目指し、ダイレクトメール発送や商工会議所の会報等に掲載をするなど周知に努めた。 ・勤労者の住宅資金、生活資金等の貸し付け原資として、長野県労働金庫に資金を預託し協調融資制度を実施した。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題 (該当ゴール及び三側面のバランス)
時代の変化とともに個々の求める余暇活動などが多様化している中、健康維持活動や余暇活動に限らず、勤労者福祉の充実を図っていく必要がある。	いきいきと働くためには、若者、女性、高齢者などすべての労働者に働きがいのある時代に合った働き方や安定的な労働環境を促進する必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと (課題解決に向けてやるべきこと)	
・働きやすい環境の整備など働き方改革を推進するとともに、長野市勤労者共済会にあっては事業の利便性を向上させ新規会員の獲得に向け、一層のPRに協力する。 ・協調融資制度では、利用者増加に向けて、利用者のニーズやさらに優位性が保てる融資商品の提案を求めていく。 ・勤労者福祉施設については、施設再編の方針に沿って、年齢や性別に関わりなく勤労者のワーク・ライフ・バランス実現を支援する施設を目指し、従来施設利用者の継続利用に加え、新規利用者の利用促進を指定管理者と協力していく。	